

2021年7月30日

各位

株式会社北洋銀行

野村不動産ホールディングス株式会社様向け サステナビリティ・リンク・ローンを取り組みました ～SDGs 戦略の達成状況に応じて金利条件等が変動します～

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、野村不動産ホールディングス株式会社様(東京都新宿区、代表取締役社長 杵掛 英二様、以下、「同社」)が制定し、TSUBASA アライアンス※参加行である株式会社千葉銀行様(千葉県千葉市、取締役頭取 米本 努様)がコーディネーターとして策定支援を行ったサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク(以下、「SLL フレームワーク」)に基づき、2021年7月30日(金)、サステナビリティ・リンク・ローン(以下、「SLL」)を取り組みましたのでお知らせします。なお、SLL フレームワークを活用した SLL の取組みは国内初となります。

SLL は、金利条件等の貸付条件と、融資先の SDGs・ESG 戦略におけるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、「SPTs」)に対する評価を連動させ、その達成状況に応じて、融資先にインセンティブやディスインセンティブが発生することで、持続可能な経済活動および経済成長を促進し、持続的に支援することを目的としています。今回の SLL フレームワークは、同社の SPTs 達成に向けた取組みを支援する金融機関を募る同社主導のフレームワークであり、まず第一弾として、TSUBASA アライアンス参加行のうち当行を含む 9 行が協調して融資を取り組みました。また今後、他の金融機関が同社に対し SLL を取り組む際の枠組みとして本 SLL フレームワークを活用することにより、その輪を広げていくことが可能となります。

当行は今後もグループ一体となって「TSUBASA アライアンス」で連携する金融機関と知見を共有しながら、環境・社会課題の解決に資する取組みを一層推進してまいります。

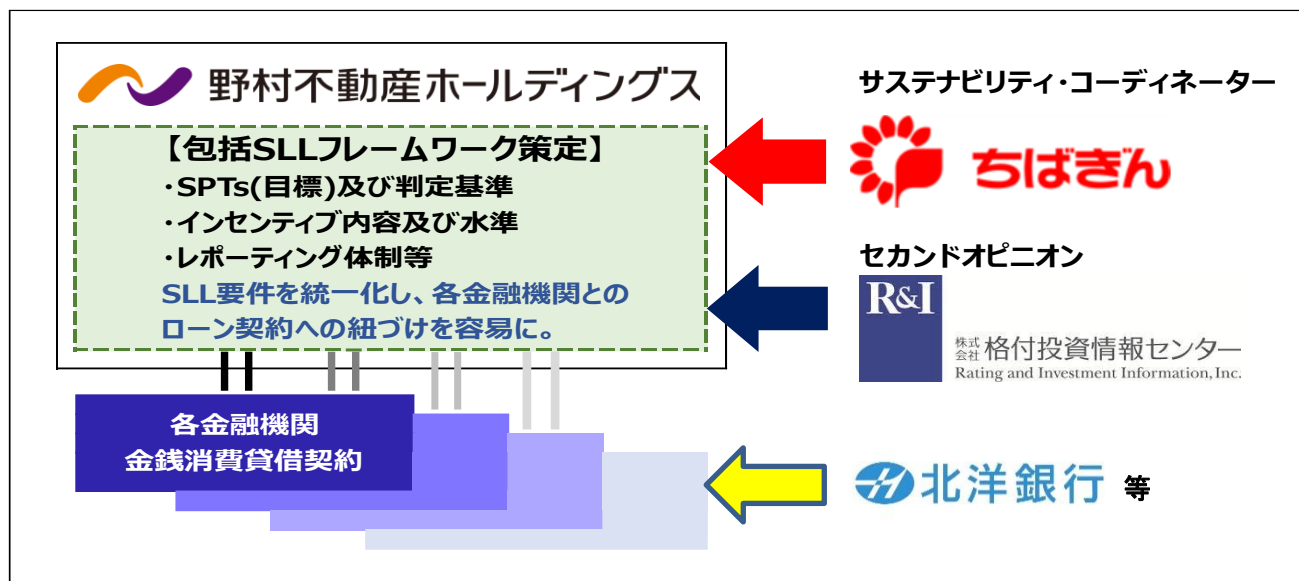
※ 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行、当行の 10 行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

【サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク スキーム図】



【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

借 入 人	野村不動産ホールディングス株式会社
サステナビリティ・コーディネーター	株式会社千葉銀行
貸 出 金 融 機 関	千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、群馬銀行、北洋銀行
実 行 日	2021年7月30日(金)
S P T s	温室効果ガス総排出量削減率目標
インセンティブ	SPTs 達成状況に応じた金利スプレッド優遇
第 三 者 意 見	株式会社格付投資情報センター
融 資 総 額	110億円(上記 TSUBASA アライアンス参加行が実行日に対応する総額)
資 金 使 途	運転資金(リファイナンスを含む)
貸 出 形 態	証書貸付